



AMEICC 伴走支援プログラム ベトナム・インドネシア・フィリピン

アジェンダ

1. プログラム概要
2. プログラム構成
3. プログラム内容
4. スケジュール
5. 現地プログラムパートナーとの協力体制
6. エントリー



1. プログラム概要

日本のスタートアップ企業の中には、ASEANの社会課題を解決するためのソリューションを持つ企業が多く存在しています。一方で、日本のスタートアップが海外展開する際には、現地の規制やマーケット情報の不足などの課題があります。

本プログラムでは、ASEAN諸国（ベトナム・インドネシア・フィリピン）でのビジネス展開を検討する日本のスタートアップに対し、個別メンタリングを通じた戦略策定支援、現地におけるパートナー企業の探索、現地企業との商談への同席・アドバイス、ピッチイベントに向けたアドバイス等の伴走支援を行います。その結果として、共同事業や共同研究、資本提携、JVの設立等、ASEAN企業との具体的な協業創出を目指します。

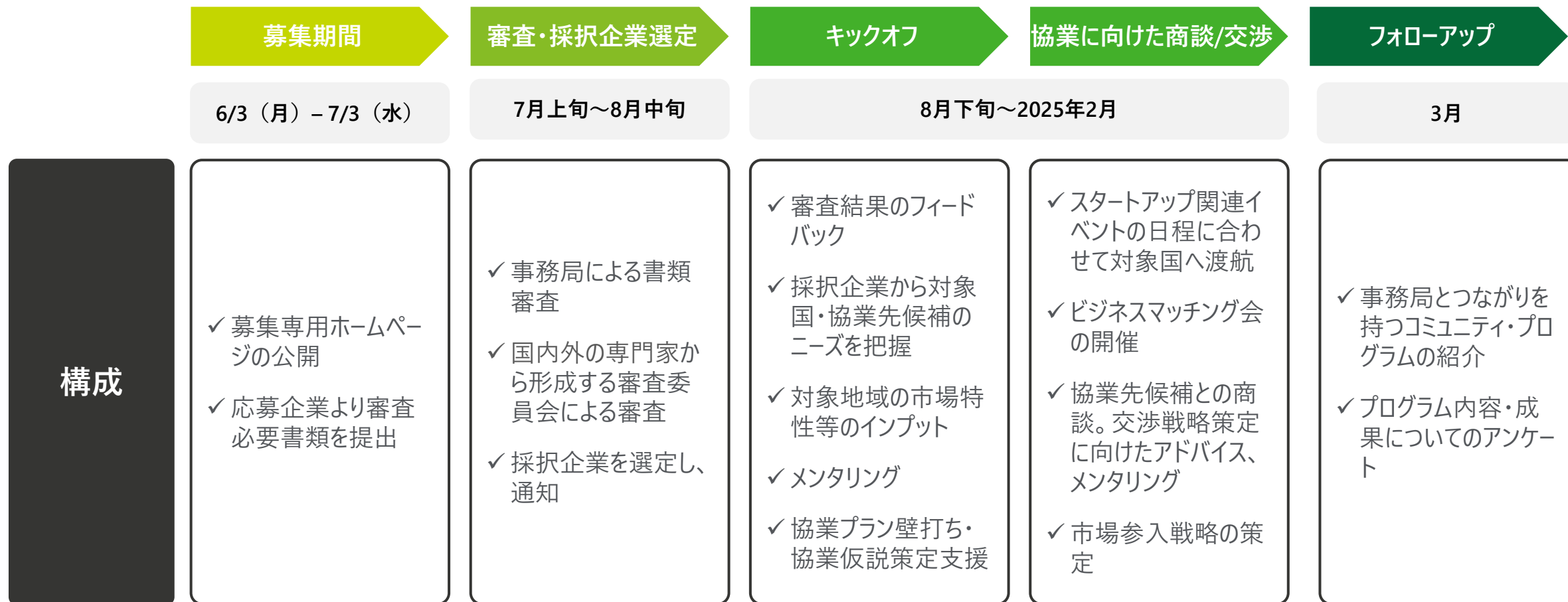
対象企業	<ul style="list-style-type: none">日本国内に所在するスタートアップ企業海外事業展開するプロダクト(MVP1を含む)を持つスタートアップ（ミドルを主とするが、アーリーステージ、レイトーステージも対象とする）
対象国	ベトナム・インドネシア・フィリピン
分野	限定せず (※ASEANで需要の高いヘルスケア、アグリテック、クリーンテック、消費財関連を優先的に考慮)

プログラムの目的

- 1 海外展開のためのノウハウの強化
- 2 ベトナム・インドネシア・フィリピン含むASEANの市場及び社会課題の理解
- 3 ASEAN企業と日本スタートアップとの協業創出（共同事業や共同研究、資本提携、JVの設立等）

2. プログラム構成

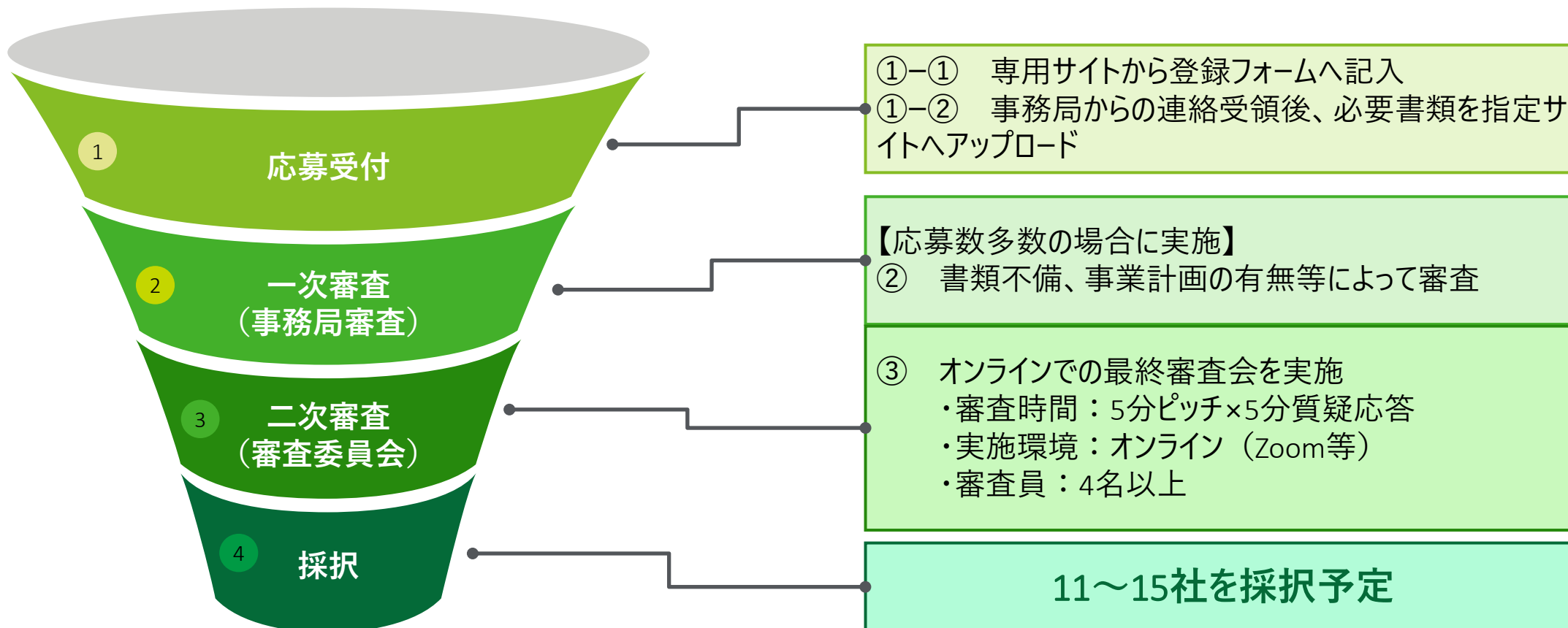
本プログラムに採択された企業は2024年8月から7カ月間程度、伴走支援を実施する



3. プログラム内容

審査方法について

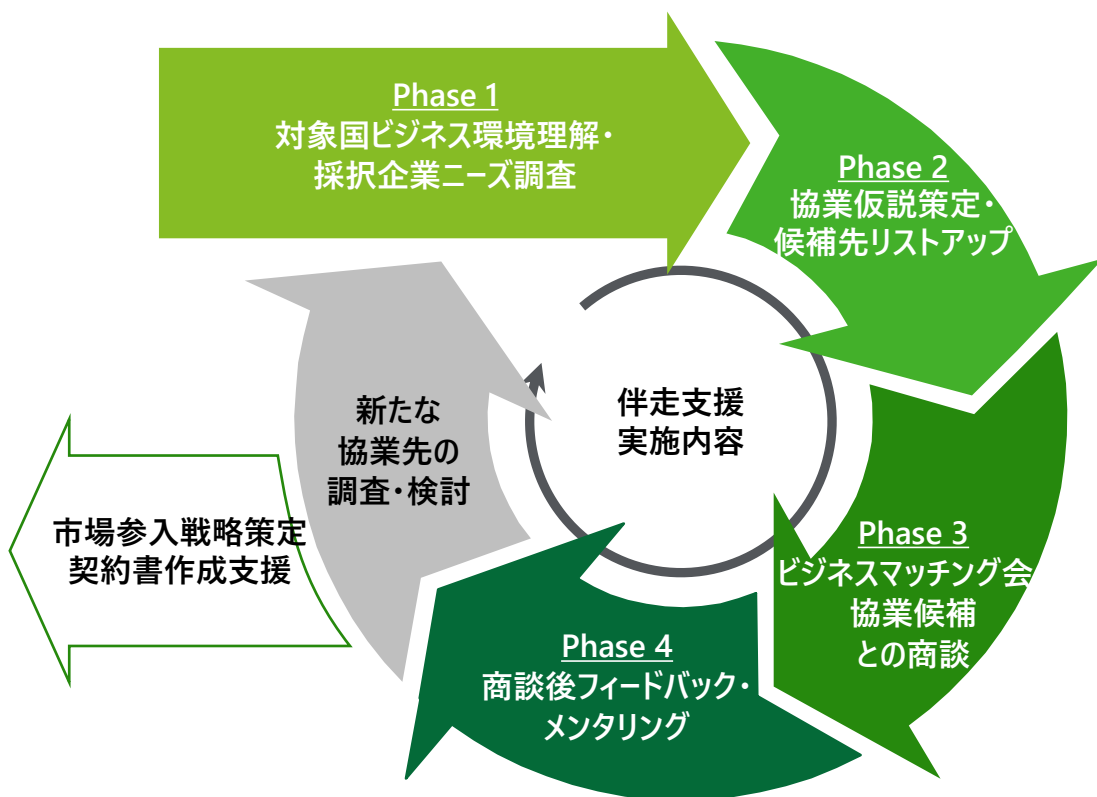
専用サイトから登録し、審査書類のアップロードをいただくことで応募完了となる。その後、応募件数に応じて事務局で書類不備・事業計画等の一次審査を行い、一次審査を通過した応募企業には各社10分程度のオンライン審査会にて最終審査を実施する



3. プログラム内容

採択後の流れ

対象国市場環境のインプットをするとともに、各社ニーズを踏まえて協業プラン作成・協業先候補のリストアップを行い、現地渡航に合わせてビジネスマッチング会を開催、以降、協業先候補との交渉から協業の具体化まで、協業成立に向けた戦略策定・実行支援をサポートします



到達目標

Phase 1

- 各国におけるスタートアップエコシステム、市場環境特性等についてオンライン形式でセミナーを実施します。
- 採択企業へのヒアリングを行い、海外事業戦略に対する理解と協業先候補へのニーズを確認します。

Phase 2

- 採択企業のニーズに合わせて市場調査を実施し、協業仮説策定を実施します。
- 協業先候補をリストアップし、採択企業の合意のもと、候補企業にアプローチし、ビジネスマッチング会や商談のセッティングを行います。

Phase 3

- 対象国への渡航に合わせて、ビジネスマッチング会を開催します。
- ビジネスマッチング会に参加した双方からのフィードバックを踏まえ、協業成立に向けた戦略策定、協業仮説の見直し、次回の商談に向けたアドバイス・調整を行います。

Phase 4

- 商談終了後に専門家によるメンタリングセッションを設け、協業の実現に向けて専門家からフィードバックします。
- 次回以降の商談に活かせるよう改善ポイントを具体化した上で、専門家からアドバイスを行います。

4. スケジュール

海外プログラムやその他のスケジュールは変更になる場合がある

	2024年										2025年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
① 公募													
参加者募集			●	●	7/3募集〆切								
参加者審査・決定				●	●	●	採択企業決定						
② 伴走支援プログラム													
対象国のビジネス環境調査・講義					●	●							
協業成立に向けた戦略策定のための市場調査・講義					●	●							
協業成立に向けた戦略策定・協業先候補選定						●	●	●	●	●	●	●	
海外渡航・協業先との商談支援								●	海外渡航(1回目)*		●	●	
(採択SUの個別渡航)								●	必要に応じて個別相談		●	●	
③ フォローアップ													
フォローアップ												●	

*海外渡航時期は採択企業及び主催者と協議のうえ決定

5. 現地プログラムパートナーとの協力体制

以下のような現地プログラムパートナーを、スタートアップの希望や事業内容に合わせて本プログラムの協力企業として選定し、運営事務局と連携しながら、採択スタートアップに対して「協業先候補の企業選定」や「現地での商談への同行・フィードバック」等のハンズオン支援を実施する

		概要	SU支援の得意領域	メンター例
インドネシア	1社目	 <ul style="list-style-type: none"> ジャカルタに拠点を置くベンチャーキャピタル 海外企業や投資家のインドネシアでのSUとの連携支援実績あり 	<ul style="list-style-type: none"> フィンテック、インシュアテック領域のスタートアップ支援を強みに持つ 	IndoGen Capital Managing Director Chandra氏 VC業務のほか、YAMAHA、ダンロップ、Unilever等のディストリビューター企業の会長をしており、様々な業界にネットワークおよび知見を持つ。
	2社目	 <ul style="list-style-type: none"> インドネシア政府機関と連携し起業家メンタリングプログラムを提供 マレーシアなど他国SUサポート経験が豊富 	<ul style="list-style-type: none"> アグリテック・サイバーセキュリティ・GovTech分野にてマーケットエンタープライズサポートの実績があり 	KUMPUL.ID Founder Faye Wongso氏 インドネシアスタートアップエコシステム初期からの構築者で、40都市以上で120以上のハブを支援。ジェンダーレンズ投資やベンチャービルディングに注力。
ベトナム	1社目	 <ul style="list-style-type: none"> 2018年設立のベトナムの大手VC ベトナム地場のVCとしての利点を生かし、海外VCと国内スタートアップのネットワーク形成に寄与 	<ul style="list-style-type: none"> EC、ディープテック、エドテック、フィンテック領域を中心に投資を実行 	ThinkZone Ventures CEO Do Bui氏 ThinkZone投資ファンドを設立後、マイクロソフトなどにてエンジニア経験も持ち、投資のみならず、テックスタートアップ向け実業アドバイス経験を持つ
	2社目	 <ul style="list-style-type: none"> ベトナム最大級のSUイベント「VIETNAM INNOVATION SUMMIT」を運営 ドイツ・スイス・シンガポール・韓国などSUサポート実績あり 	<ul style="list-style-type: none"> ベトナムを中心としたSUの海外進出プログラムでの支援実績を多数持つ 	InnoLab Asia Co-Founder Cong-Thang HUYNH氏 ドイツ・スイス・シンガポールなどの企業に対してベトナムへ事業進出アドバイザー経験を持ち、ベトナム企業との提携サポート成功例を多数持つ
フィリピン	1社目	 <ul style="list-style-type: none"> 比系スタートアップ向けのアクセラレーターを運営 東南アジア最大規模の日系イノベーションカンファレンスIGNITE運営 	<ul style="list-style-type: none"> 海外SUのマーケット参入支援 多数のフィリピン企業とのリレーションを持つ 	TechShake Co-Founder 足立幸太郎氏 システム開発のAXIS Software Development, コンサルティングのGlobal Bridge Resourcesを経営。スペインのIE Business SchoolにてMBAを取得。
	2社目	 <ul style="list-style-type: none"> 2016年官民一体でフィリピンでのSU支援を目的に設立 フィリピンSU向け投資家ピッチイベントやアクセラプログラムを実施 	<ul style="list-style-type: none"> 政府関連機関として幅広く支援しており、フィンテック・物流・EC・AI・アグリテック・SaaSなど実績多数 	QBO Innovation Head of Investments & Strategy Ben Alderson氏 フィリピンSUに資金調達や事業開発にサポート実績があり、イギリスバックグラウンド。

6. エントリー

応募資格

- 1 日本国内に所在する日本発のスタートアップ企業（ミドルステージを中心に想定。アーリーステージ、レイターステージも応募可能）
- 2 海外での事業展開を検討中、または実行中のスタートアップ企業
- 3 現地企業との商談等を一定レベルでの英語で行える者の参加（商談には事務局または現地プログラムパートナーが同行支援）
- 4 本事業対象国への事業展開に具体的なビジネスプラン・海外事業戦略を持つこと
- 5 エントリー無料（但し、**応募にかかる費用・受講にかかる現地渡航費用・通信費等のプログラム参加費は自己負担**）
- 6 フォローアップアンケートや、次年度以降AMEICCからの本事業に関する依頼に協力すること

エントリー方法

応募要件をご確認のうえ、応募専用ホームページよりお申し込みください。 <https://asean-startup-gate.jp/>

エントリー締切：7月3日

※審査に関するお問い合わせには一切お答えできません。

6. エントリー

提出書類

- 1 事業概要・組織体制・対象国での事業計画を含めた英語ピッチデッキ

審査基準

- 1 対象国における事業展開可能性・競争優位性
- 2 現在日本市場におけるマーケットシェアなど事業確立性
- 3 商談参加予定の経営者層(CEO,CXO等)の英語力
- 4 協業仮説イメージの確立性
- 5 経営者の本プログラムに対するコミットメント

6. エントリー

費用負担

A 主催者等の費用

- 本プログラムに係る受講費
- 本プロジェクトの講師、現地メンター等（オンライン及びオフライン）によるアドバイス費用
- 商談同行に伴う事務局メンバー、現地メンターの交通費
- スタートアップ関連イベント・ビジネスマッチング会等の開催費用

B 参加者等の費用

- 海外プログラムにおける往復航空券及び宿泊費用
- パスポート等の取得費用、海外旅行保険の保険料、両替手数料等の出国及び入国に関わる費用
- 本プログラムにおける現地での飲食費その他生活費等
- プログラムに関する各種Webサービスやメールリスト等のオンラインシステムを利用するために必要な機器及びソフトウェア並びに通信に関する費用
- その他「A 主催者等の費用」に含まれない一切の費用
- 参加者の自己都合により本プログラムを辞退した際に係る一切の諸費用



Deloitte.

デロイト トーマツ

お問い合わせ

AMEICC伴走支援プログラム事務局

ameicc_asean-startup-gate@tohmatu.co.jp

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-2-3 丸の内二重橋ビルディング